



第11号
2015年10月20日
この通信は生徒と保護者の皆様に向けて、編集・発行しています。

進路説明会 ありがとうございました

先日の進路説明会では菊武ビジネス専門学校、栄徳高校、瀬戸窯業高校、旭野高校の先生方から話をいただきました。それぞれの学校や学科について分かりやすく説明していただきました。生徒の皆さんには耳の痛い話もあったかと思いますが、心のこもったメッセージがあったと思います。今回の話から自分の生活を見直したり、今まで以上に「頑張らないといけない」と思ったりできればいいと思います。以下、各校の話抜粋して載せさせていただきます。

菊武ビジネス専門学校

専修学校高等課程の説明。個性を大切にすることは大切だが、社会で通用する人間を育てたい。我慢のできる人間を育てたい。

栄徳高校

私立高校の指導の特徴と栄徳高校の指導の重点である部活・生徒指導・補習について。せっかく大学まで卒業して就職しても3年間で3分の1がやめてしまう現状をふまえ、簡単にへこたれない人間を育てたい。(離職の理由は人間関係、理想と現実のギャップ…) アジアでも下位にある日本人の英語力を高め、世界に通用する国際人を育てたい。

瀬戸窯業高校

各科の紹介と日課の説明。(午前3時間で午後3時間) 120年以上の伝統から地域の企業との結びつきが強く、97%の就職率を誇る。大卒でもなかなか入れないような企業への就職を多数の生徒が果たしている。現場で弱音をはかない人間を育てている。

旭野高校

旭野高校の生徒の様子や学校行事についての説明。「文武両道」を合い言葉に生徒と教師が仲良く頑張っている。

進学校である旭野高校は、ほとんどの生徒が大学に進学するので、社会に出るのはまだ先ということになるかもしれません。(高校生もほとんど大人ですが。) 一方で菊武ビジネスや窯業高校は就職に直結するというので、社会で生きていくための教育に力を入れていることが分かりました。ですから当然指導も厳しくなりますし、甘えは許されないというわけです。栄徳高校も進学指導に力を入れています。その先を見据えた教育を目指していると思いました。大切なことは、どんな環境におかれても生きていける(適応できる)力をつけていくことです。離職してしまうにはそれなりの事情はあるにしても、せっかく大学まで頑張って勉強して就職したのに、短期間でやめてしまうのは本人にとっても親の立場からしても残念ですね。最終目標は就職できることではなく、その仕事にやりがいをもって頑張ることができるということだと思います。よく自分に「合う」とか「合わない」とかいう人がいますが、社会や環境が自分に合わせてくれることはまずないのです。自分が合わせる(適応する)しかありません。与えられた環境の中で自分らしく輝けるように、自分自身を鍛えていきましょう。

お願いなど

進路説明会では各校の先生方の話の後、本校の進路担当の職員が話をさせていただきました。当日欠席された家庭にも要項をお配りしましたので、よく読んでおいていただきたいと思えます。会の冒頭では学年の方からいくつかお願いしたことを、再度お知らせします。

- ① 進路関係書類は特に締切厳守でお願いします。
- ② 現在教育相談を行っています。家庭でもコミュニケーションを多くとり、必要があれば、担任に相談してください。本人の頑張り第一ですが、早めの相談が安心につながります。
- ③ 服装チェック週間を設定し、身なりを整えさせます。家庭でも声をかけてください。不備があった場合は連絡させていただきます。カバンにマスコットをぶらさげている生徒もいます。必要ないものをつけないようにしましょう。
- ④ ケガやその他の理由で車で送り迎えをされる場合は担任に申し出てください。最近、無断で車で登下校したり、便乗する生徒が見られます。特段の事情がない場合はご遠慮ください。また、学校帰りに直接塾に行く、ということもさけていただきたいと思います。家の遠い近いはあると思いますが、特に遠い地域は自転車通学も認められています。同規模の校区をもつ東中・西中には認められていません。ご協力をお願いします。